

第7回白河市消防操法競技大会 操法技術を競い合う

6月28日、東風の台運動公園（東釜子）で、「第7回白河市消防操法競技大会」が開催されました。この大会は、団員の操法技術の向上と火災防御体制の強化を目的に毎年開催しています。今年はポンプ車の部で12チーム、小型ポンプの部で23チームが出場し、日頃の訓練で培った技術を競い合いました。競技の結果、ポンプ車の部は白河方面隊第6分団第1部第1班（萱根）、小型ポンプの部は東方面隊第1分団第2部第3班（東栃本）が初優勝を果たしました。



▲息を合わせて競技を行う選手

青少年健全育成推進大会 代表生徒8人が自分の思いを主張

7月10日、市民会館（手代町）で、「白河市青少年健全育成推進大会」が開催され、青少年の健全育成に功績があった個人・団体等への表彰や市内各中学校の代表生徒8人による「少年の主張」が行われました。生徒たちは、日頃の思いを率直な言葉で発表し、来場した在校生や市民の方々には熱心に耳を傾けていました。審査の結果、市長賞を受賞した富井和奏さん（白二中3年）をはじめ上位入選した5人の生徒が、県大会への出場候補者として推薦されます。

笑かせよう笑顔の化を!! 子どもの夢と明るい未来のため



▲発表をした代表生徒たち

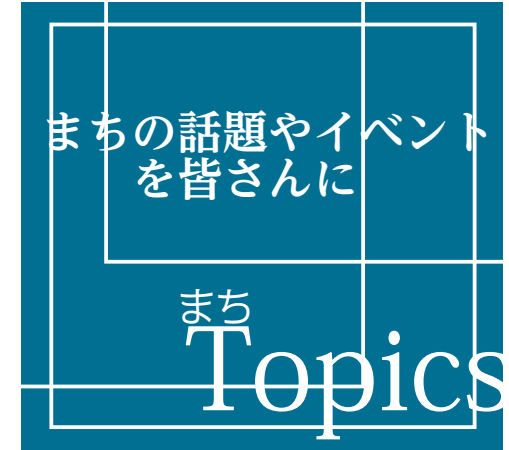
第8回白河市民芸能大会 華やかに舞い、唄い、修練の成果を披露

7月12日、市民会館（手代町）で、白河市合併10周年記念事業として「第8回白河市民芸能大会」が開催されました。市文化団体連合会に加盟している20団体、約300人が、地域に息づく伝統芸能や現代の創作芸能の踊り、唄、大正琴、三味線など、日頃の修練の成果を披露しました。

会場には約500人の観衆が詰めかけ、華やかな衣装を身にまとった出演者の華麗な舞いや迫力のある演奏などに、大きな拍手を送っていました。



▲見事な舞いを披露する出演者



▲くわ入れの様子（左から、内堀知事、倉井社長、鈴木市長）

三菱ガス化学(株)新築工事起工式 製造・研究開発の一大拠点を設置

7月10日、「工業の森・新白河B工区」(豊地)で、三菱ガス化学(株)（東京都千代田区、倉井敏磨社長）の製造・研究開発拠点「QOLイノベーションセンター白河」の起工式が行われ、関係者が工事の安全を祈願しました。

同社は、第一期計画として、約32haの敷地のうち4.2haを利用し、食品や医薬品の劣化を防ぐ脱酸素剤（エージレス）、液晶ディスプレイなどに使用されているフィルム・シートなど、生活の質を高めるための製品を製造・研究開発する工場、事務所となる総合棟などを整備します。

平成29年2月の操業開始を目指していて、約200人の従業員のうち9割を地元から採用する予定です。



▲建設予定地

わかわマルシェ 白河ブランドを使用した朝ごはんを提供

6月28日、JR白河駅前イベント広場で、県南地域の農産物などをPRする朝市、「しらかわマルシェ」が行われました。今回は、白河ブランドの商品を取り入れた限定300食の「贅沢朝ごはん!!」を初めて販売しました。販売開始を待ちかねた来場者が行列をつくるなど、会場は早朝からにぎわいました。

今後は8月30日、9月20日、10月18日、11月15日の日曜日に、午前8時から正午まで開催される予定です。



▲贅沢朝ごはんに行列をつくる来場者